

週報

二十二年十二月三十一日

愛國百人一首 標準漢字表

324號

昭和十一年十月一日第三種郵便物認可

(每週一四水曜日發行)

五錢

週報

昭和十一年十月一日第三種郵便物認可

(每週一四水曜日發行)

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

12月抽籤貯蓄債券 當籤番號表 (其ノ二)

昭和十七年十二月 大藏省・日本勸業銀行

Table with columns for bond numbers and serial numbers. Includes sub-sections for '戦時債券' and '貯蓄金'.

(本書の大きさは國定規格[A5]判)

必勝必成の

決意新たに

大東亞戦争第二年の

新春を迎へよう

週報

第三二四號
十二月二十三日

昭和十八年度一般會計豫算の概貌

大蔵省

來年度の中等學校

入學考査について

文部省

年末年始の旅行制限

鐵道省

標準漢字表について

文部省

標準漢字表

文部省

大東亞戦争と船員

海務院

大東亞戦争日誌

海務院

愛國百人一首

海務院

週日誌

十二月十日(木)

昭和十八年度一般會計豫算九十九億九千五百万圓を閣議で決定

十二月十一日(金)

ジャワ作戦に停戦の坂口兵團・同配屬部隊、東海林部隊・同配屬部隊、向區處部隊に對し感狀が授與され、上聞に達した旨、陸軍省發表

十二月十二日(土)

天皇陛下、伊勢の神宮に御参拜(十一日に帝都を御参拜十三日に皇城へ還幸)戰勝を御祈願あらせらる

十二月十四日(日)

中央物價統制協力會議を開催

十二月十五日(火)

芳澤佛印特派大使、Fター總督と會談

十二月十五日(火)

天皇陛下、産業經濟代表者に拜謁仰付けらる

産業經濟代表者懇談會を總理大臣官舎で開催

陸軍航空部隊のテツタゴ

ンインと猛撃の戦果(十機撃墜、七隻撃沈、十隻大中破、四隻要傷上、陸上隊員數を爆撃を大本營發表

海軍航空部隊、ニューギ

ニア島ブナ附近の戦果(十一月二十四日以後十二月八日までに敵機四十四機を撃墜し、哨戒機、特務艇各二隻撃沈)を大本營發表

陸軍航空部隊、桂林(敵百

機)で敵大型機四機を爆撃

十二月十六日(水)

チモール島攻略に停戦の

神戸歩兵中隊・同配屬部隊、

マニラ群島方面に出現

の米機動部隊を撃退の中井

大尉指揮の〇〇海軍航空隊

〇〇派遣隊に感狀が授與さ

れ、上聞に達した旨、陸海

軍省發表



昭和十八年度一般會計豫算の概貌

大 藏 省

大東亞戰爭下第二年度たる昭和十八年度の豫算編成については、さる八月、各省から概算要求が大藏省に提出され、以來四ヶ月の間、大藏省において慎重審議の上、各省との折衝を重ねた結果、十二月十日の閣議において概算の決定をみるに至つた。今後はこれに基づいて一般會計豫算が調製され、來

春早々、再開初頭の帝國議會に提出の運びとなるわけである。

十八年度概算額

今回決定をみた昭和十八年度概算額は、歳入歳出共に、九十九億九千五百餘万圓であつて、さる四月に開かれた第八十回帝國議會で成立した追加

豫算を含めた昭和十七年度一般會計豫算額と比較すれば、歳入において十一億五千七百餘万圓、歳出において十一億四千四百餘万圓の増加となつてゐる。かく歳入、歳出の各増加額の間

に差異のあるのは、昭和十七年度豫算において歳入額の一部は、豫算実行上の歳入超過額を以つて充てることになつ

てゐるためである。

現在、帝國の直面してゐる諸般の情勢に鑑み、さらに物資、勞務および資金需給の状況をも考へ合すと、臨時軍事費の需用にも備へ、戦時財政經濟政策の圓滑な運行を期するために、出来る限り政府の歳出の膨脹を抑制する必要があるのはもちろんであるが、他面、大東亞戰爭を先遂し、大東亞共榮圏の確立を期するためには、施策を要する事項が極めて多端に上る以上、このために概算額がこの程度増加することは、眞にやむを得ぬところといはねばならない。

歳入

先づ、歳入の大略を述べれば、昭和十八年度歳入概算額、九十九億九千五百餘万圓のうち、租税その他の普通歳入は八十三億九千餘万圓、前年度剰餘金繰入は三億三千餘万圓であつて、歳入額からこれ等の合計額を差引いた殘額十二億

七千四百餘万圓が公債財源といふことになる。

普通収入の大宗は、いふまでもなく租税収入であるが、租税収入は經常部および臨時部を通じて六十八億七百餘万圓に上り、前年度豫算額に比し十億四千七百餘万圓の増加を示し、銃後國民經濟の進展の跡を窺ひ得るものと、心強さを覚える次第である。なほ、この普通収入のうち、支那事變以來の税制改正に基づく増収額と、煙草の値上等に基づく專賣局益金の増加額との合計額中の相當額、即ち二十七億五千五百萬圓は前年通りこれを臨時軍事費特別會計に繰入れ、戦費に充當することになつてゐる。

公債發行豫定額は十二億七千四百餘万圓であるが、うち震災善後公債と道路公債との合計が二千万圓足らずの外は全部歳入補填公債であるが、公債發行豫定額を前年度と比較すれば二

億五千百餘万圓の減少を示してゐる。

歳出

次に歳出について、その概要を述べよう。歳出概算は、時局の要請に即應して各省からの新規要求事項は極めて多岐に亘り、その金額も巨額に上つたのであるが、これに對して、夙に閣議決定を経た豫算編成方針に基づき、重點主義と効率主義との観点から、新規經費のうち、さきに閣議において先議決定された事項については、財政事情の許す限り、出来るだけこれを計上することに努めたが、その他の新規要求および既定經費については時局の推移に順ひ、十分な検討を遂げた上、眞に相應しい戦時豫算とするやう努めた次第である。

歳出豫算の内譯

その結果、歳出豫算額は九十九億九千五百餘万圓となつたのであるが、そ

の内譯は左表の通りであつて、國上の防衛、生産力の擴充、國民生活の確保、その他いづれも現下の時局に顧みて、眞に必要なし措き難い經費のみである。

	(單位百万圓)	
	經常部	臨時部
皇室費	四五	四五
外務省	一三	四四
内務省	六四	九四
大藏省	三二	六〇
陸軍省	六	六
海軍省	一	一
司法省	五七	七〇
文部省	二六	三三
農林省	七	五〇
商工省	九	三三
逓信省	九〇	六九
厚生省	一八〇	三三
大東亞省	四二	一四
計	四九三	六九三

右の金額は計數整理等の結果、相當の

異動を生ずるやも測り難い。右の表に見る通り、昭和十八年度においては、先頃行はれた行政機構の改正に伴つて、従来の拓務省所管がなくなり、大東亞省がこれに代つた。また陸海軍兩省所管の經費が甚だ小額なのは、前年度通り本省費以外の經費は殆んどすべて臨時軍事費支辨となつてゐるためである。

戦争豫算の特色濃化

前述のやうに、來年度の概算は諸般の政府施策の非戰時性を拂拭するため、既定經費に對しても十分な再検討を加へた上で出来上つたのであつて、その減少額も三億五千餘万円に上つてゐるのであるが、何分にも臨時軍事費特別會計への繰入、地方分與税分與金特別會計への繰入、國債費、年金及び恩給等のいはゆる特殊經費その他必

要やむを得ない經費の増嵩が著るしかつたため、右概算額は前年度に比し十一億四千四百餘万円を増し、遂に百億圓に垂んとする額に達したのである。

わが國民經濟力の現状を以つてすれば、百億圓といふ金額は必ずしも過大な金額とはいへないのであるが、今後編成さるべき臨時軍事費の追加豫算その他、各特別會計の豫算額をも考へ合はせると、これらの歳出に伴つて、民間に放出される資金の量も相當巨額に上ることが想像に難くないのである。

従つて、これら民間資金を回收して國民經濟の運行を確保する點からいつても、國民は各、その分に應じた租稅負擔に任ずべきことは申すまでもないが、同時に一層不自由な境へて消費生活に切詰め、ます／＼貯蓄額を増加して國家の必要とする資金の調達に貢獻することが緊要である。

來年度の中等學校

入學考査について

文 部 省

またそろ／＼中等學校への入學が話題に上る時期になつて來ました。特に來春、中學校・高等女學校・實業學校に入學させる子女を持つ親達は、もういろいろと心を碎いてをられることせう。

さて來年度の入學者選抜に關する方針については、先日文部省から地方廳に對して通牒が發せられました。これによつて來春行はれる考査が、どん

な方針で行はれるかが確定したわけであり、また、こゝに通牒の内容をだいたい述べることに致します。

考査の方法

まづ入學者選抜の方法は、人物考査、身體檢査、國民學校長の報告の三者の綜合判定によるもので、これは前年と何等變りはありません。この三者綜合

の選抜法は、昭和十五年春から行はれてゐるのですが、文部省で慎重考究の結果、この選抜方法を繼續することにしたのであります。

その理由は、今春の第三回の實施狀況をみますと、この選抜法は數次の經驗によつて、中等學校も國民學校もやうやく馴れ、實施方法が年々適切になつて來てゐることを認めたからです。さうしてこれまでの學科試験を主とする選抜方法を改正した趣旨、即ち國民教育の本旨の徹底と國民體位の向上の二つは、次第に實現されてゐることが認められるに至つたのであります。

勿論、人物考査にしても、身體檢査にしても、また報告書の作成と審査に完璧を期すことは肝要なことでありまして、この點については、まだ部分的には改善しなければならぬ點がないわけではありませぬので、文部省と道府

縣の指導の下に、それ／＼の學校で不
斷の努力を拂はせるやうにしてゐま
す。結局、三者綜合の選抜による方針
は、來年度も堅持されることを先づは
つきりと申しておきます。

學區制と綜合考査制

次に、本年度初めて指示された學
區制と綜合考査制については、これを
一層廣く行ふ方針であります。

この新しい入學制度に關しては、
去る一月十四日の週報(二七五號)で解
説しましたし、また今春、現に數府縣
で實施されたことですから、いま改め
て詳しく説明するまでもないでせう
が、簡単に申しますと、學校の入學志
願について一定の地域的規制を行ふの
が學區制、幾つかの學校の志願者を綜
合して考査を行ひ、合格者をそれ等の
學校に配分するのが綜合考査制であり
ます。

本年の入學考査に際して、學區制を
實施したのは、東京、大阪、愛知、神
奈川、滋賀、鳥取の六府縣で、綜合考
査制(學區制を加味した)を斷行したの
は、京都府であります。しかしその他
にも制度としてはありませんが、學
區制の精神を考慮して適切な處置を行
ふやうに指示した縣は多數に上つてを
ります。

文部省では、右の實施の情況につい
て綿密な調査を遂げた結果、これを制
度として行つた府縣では、最初の試み
であつたにもかゝらず、だいたいの良
好な成果をあげたことを確認しまし
た。そこで來年度には、その効果をさ
らに高めようとしてをるのでありま
す。

即ち第一に、すでに實施した府縣で
も、例へばその適用の範圍を擴げると
か、方法上なほ改善を加へるとかとい
ふやうに、一段の工夫を廻らすことを

要望したのであります。

第二に、本年度に實施しなかつた府
縣には、大都市を含む府縣に對して學
區制・綜合考査制の兩者、またはその
いづれか一つの實施を考慮することを
促すと共に、その他の縣も來年度は兩
制の實施について、それ／＼の地方の
事情に應じて研究するやうに要望した
のであります。

いつたい兩制の担ひ所に關しては、
昨年の本省通牒中に示したのです
が、本年これを實施した府縣からの報
告は、それを十分實證したのでありま
す。

即ち學區制を行つた所では、

- (一) 近距離通學の傾向が促進され
- (二) 志願者が分散して各學校に均
- 分され
- (三) 學校差の觀念が打破され、且
- つその現象がなくなり
- (四) 志願者の質が各學校に均分さ

れ

- (五) 國民學校と中等學校との連繫
- が密になり
- (六) 同一地區から多數が通學する
- ため、通學訓練上、好結果を來し
- たし

また綜合考査制を行つた所では、

- (一) 優秀兒童の落伍を防止するこ
- とが出来
- (二) 考査と入學決定に關し信頼の
- 念を高めることが出来
- (三) 學校差を生じないやうにし
- (四) 國民學校の進學指導が容易と
- なつたのであります。

このやうな効果は、一面、入學難の緩
和、適格者の選抜、進學指導の適正化
といつたやうな、中等學校入學問題そ
のものゝ解決に寄與すると共に、他面、
修練教育の強化、學校差の排除、國民
學校からの一聯的教育の實現等、中等

教育の徹底化の上に貢献するところが
大きいのです。

特に中等學校が國家の要請に應じ、
新しい教育指標の下に力強い發足を
しようとしてゐる時、その感が深いの
であります。

なほ又、これに關聯して留意すべき
ことは、このやうな狙ひと効果とをも
つ以上、それは決して國內の一部地域
の問題として取扱はるべきではないと
いふことです。従つて、これは單に大
都市だけを目標とすべきものではない
のであります。その意味で、本年の實
施府縣に大都市を含む府縣以外のもの
が入つてゐることは、われ／＼に頗る
心強さを與へるのです。

來年度に對し、文部省が兩制實施の
一歩前進を圖つた意圖も、また全く右
の趣旨に基づくものに外ならないので
す。

戰時下進學の心構へ

最後に今日の通牒では、國民學校で
一層適正な進學指導を圖るべきことを
指示してをります。

進學指導に關しては、前回の通牒で
も注意を喚起してゐるのですが、それ
は三者綜合の現行考査法の施行に當つ
ては、不可缺のものであるばかりでな
く、學區制・綜合考査制を實施するこ
とになると、一層その重要性が認めら
れるのです。

適正な進學指導とはどんなことか、
一口にいへば、正しい進學の理念に立
脚して個々の進學と學校選定につき指
導することです。

では正しい進學の理念とは何でせう
か。それは進學を以て個人的な名利の
ためにではなく、國家に對し大きな奉
公をなさなさんかためのものとする考へで

あります。

このやうな根本觀念がしつかりして
れば、國民學校を修了後どんな方向
に進むがよいか、また、どんな種類の
學校を選ぶべきか、更にまた、どの學
校を志願すべきかにつき冷静に判斷
することが出来、眞に國家の目的にそ
ひ、また個性に適應した正しい進學の
理想が達せられるのであります。

大東亞戰爭下、わが國民はあらゆる
點で體制を一新し、この聖戰を闘ひぬ
かなければなりません。

中等學校への進學に關しても、父兄
は舊來やゝもすれば個人的立場だけ
から、わが子の進學につき考へてあた
態度を一擲しなければなりませんし、
また國民學校の職員も、ともすればそ
の考へ方が、自己の學校とか學級だけ
に局限されてゐた弊を斷然改めなけれ
ばなりません。

さうして相共に以上述べたやうな正

しい進學の理念に基づいて、進學や學
校選定を行ふやうに努むべきでありま
す。

かくみて参りますと、適正な進學指

も、父兄方が戰時下進學の心構へに關
し、正しい、また深い理解を持たれる
ことが、極めて大切であると考へられ
ます。

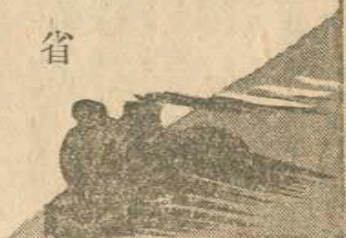
文部省編纂圖書抄

内閣印刷局發行

書名	定價	送料
大東亞戰爭とわれら	〇・二〇	〇・〇四
國民學校制度ニ關スル解説	〇・一五	〇・〇四
日本諸學研究報告		
自然科學 第十五篇	〇・七〇	〇・二二
經濟學 第十六篇	〇・六五	〇・二二
歴史學 第十七篇	—	—
國語國文學 特輯第六篇	—	—
日本諸學		
我が國學界ノ展望ト課題(創刊號)	〇・六〇	〇・二二
大東亞建設ト諸學ノ在リ方(一)	〇・五〇	〇・二二
(第二號)		
日本諸學講演集		
經濟學 第一輯	〇・二〇	〇・〇四
歴史學 第二輯	〇・二〇	〇・〇四
教育學 第三輯	〇・二〇	〇・〇四
國民の道	〇・二〇	〇・〇八
國民道德大意	〇・二〇	〇・〇八

年末年始の旅行制限

鐵道省



鐵道は、よく「國の血管」であり、「國
の動脈」であるといはれますが、こと
に今次の世界戰爭では、近代戰の「新ら
しき武器」として再認識され、いよいよ
よその重要性を加へて來ました。まこ
とに現下の長期建設戰は、輸送力と輸
送力との戦ひ、廣い意味での「輸送戰」
といつても過言ではありません。

旅客輸送の根本方針

いはゆる戰時陸道非常體制の眼目
は、すでにご承知の通り、戰時下必要

な物資の陸上輸送力の確保、つまり重
要物資の輸送力を増強することにあり
のであります。これを實現するには、
どうしても人に對する旅行規正が必要
になつて來ます。ことに外國と異つて、
旅客輸送が鐵道輸送の重大部門となつ
てゐるわが國では、この點について特
に考慮を拂はねばなりません。

そこで鐵道省では、客車や機關車等
の運用効率をあげ、出来るだけ輸送力
の増強をはかる一方、手荷物や車内持
込荷物の制限等をして、座席の利用効

率を増すことに努め、また不急旅行の
自肅自制を皆様にお願ひしてゐる次第
であります。

もちろん、鐵道省といたしましては、
無暗に旅行の制限や乗車の抑制を行ふ
わけではありません。それどころか、
戰時下に必要な輸送を確保し、急を要
する旅行者の利便を圖るため、戦力増
強に直接關係の深い産業戦士諸君の
通勤はもちろん、官廳、工場、會社の
通勤者、將來の東亞を背負つて起つ學
生、生徒諸君の通學等にはどんな困難
を忍んでも、こと缺かぬやうに努め、
そのほか應召その他の緊急の要務のた
め、或ひは健民運動のための旅客移動
等に對しては、優先的に便宜をはかる
やうにしてをります。

年末年始の旅行調整策

毎年の例によりますと、年末二十八
日頃から正月三日頃までは、最も旅客

の幅狭する時期で、この期間は各驛とも平日の二倍、三倍の旅客や荷物が殺到します。そこで鐵道省では、全輸送力を戦力の増強に資すると共に、次ぎのやうな劃期的な調整策でこの繁忙期を克服し、鐵壁の輸送陣をさらに一層強化することになりました。

◇二等車、展望車の連結停止

十二月二十四日から一月十日まで、次ぎの列車の二等車連結をやめ、その代りに三等車を連結します。

區	列車番	發	時分	實地期間
東京—長崎	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	長崎發	15:00	
東京—門司	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	門司發	15:00	
東京—神戸	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	神戸發	15:00	

◇一、二等寝臺車の連結停止

次ぎの列車の一、二等寝臺車の連結をやめ、その代りに三等客車を連結します。

◇開釜、青函航路の乗船指定

(イ) 一月六日から三十一日までの下関、釜山間航路下り各便の二、三等旅客に對し、乗船月日と船便を指定し、發着の割當表を定めて乗車船券を發賣します。

(ロ) 青森、函館間航路は、十二月二十五日から三十一日まで下り全便、十二月二十五日から一月十一日まで上り六便、八便の各等の旅客にも、開釜間航路と同様の取扱ひで乗車券を發賣します。これは毎年、年末年始にかけて樺太、北海道方面、滿洲、支那方面から郷里に歸り、正月を迎へる人々が多く、そのため連絡船が薄員となり、乗り残しが起るからです。

◇教員、學生、生徒の割引乗車券の發賣停止

十二月二十六日から一月五日まで教員、學生、生徒の割引乗車券の發賣を停止します。

◇食堂車の連結停止

次ぎの列車の食堂車の連結をやめ、その代りに普通客車を連結します。

區	列車番	發	時分	實地期間
東京—神戸	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	神戸發	15:00	
東京—大阪	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	大阪發	15:00	
東京—青森	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	青森發	15:00	
東京—新潟	一	東京發	13:00	12月24日—1月10日
	二	新潟發	15:00	

◇急行列車の近距離乗車制限

十二月二十六日から一月五日まで、次ぎの區間に於ける急行列車の乗車制限を行います。

止します。學校の休暇は、だいたい十二月二十日頃から一月十日頃まででありますから、休みに入つてすぐ旅行に出て、休みが終る頃に歸れば、この制限のため影響を受けることはないわけですが、なほ、休業が二十六日以後まで続くものには、特別の取扱ひをいたします。

◇車内持込手廻品の制限

最近の車内への持込手廻品は、次第に大きく、しかも数が多くなり、荷物のため人が乗れないといふこともあり、十二月十五日から車内への持込手廻品は、旅客一人につき二箇以内とし、容積は〇・〇三六立方メートル(一尺一寸立方)程度の風呂敷その他包装によるもの、または長さ六十七センチ(二尺一寸)以内の旅行用鞆、手提行李等に限ることになりました。但し滿洲、支那向け等の遠距離旅客の携帶品は、多少緩和します。

◇スキーの車内持込制限

年末年始にかけて一定期間、列車を定めてスキーの車内持込みを禁止し、あるひ

ぎの區間相互發着の旅行には、急行列車の利用を停止し、近距離ゆきの方はこの際、適慮していただき、眞に必要な長途の旅行者に道を開いていただくことにしました。

(イ) 東京附近

東京—沼津間、上野—白河間、上野—日立間、上野—水上間、上野—輕井澤間

(ロ) 米原、敦賀附近

金澤—敦賀間、小松—米原間、京都—敦賀間

(但し第五〇一、五〇二列車に限る)

以上のほか、廣島、門司鐵道局管内でも急行列車の利用を列車、期間を限つて制限することがあります。

◇特別急行列車の座席指定停止

十二月二十四日から一月十日まで座席指定を停止します。但し特別急行料金は従来通りです。これは年末年始だけ行ふもので、眞に急を要する旅行者のため一人でも多く機会を與へるためでありますから、従つて特急に乘つても座席がなく立つて行く方も出来ると思ひます。

◇交通道德の昂揚

年末から年始にかけては、毎年各驛とも非常に混雑しますから、驛や車内等では、交通道德の發揚に努め、お互ひに大東亞共榮國の指導國民として、恥かしくないやう秩序整然と行動し、また、傷病軍人や老幼の方には、特に親切にして勞はつていただきたいものです。

以上、年末年始の旅行規正について申し上げましたが、これは皆様の理解とご協力があつてこそ、初めて實現できるものであります。どうぞ、不急旅行は差控へ、また國防上からも長く家を空けての遊覽旅行や、せいたくな保養旅行は十分に自肅自戒され、贈答品の託送等もこの際、全廢して、眞に決戦下の國民らしく簡素剛健な氣持で年を送り、意義深い新年を迎へられるやう切望する次第であります。

標準漢字表について

國語國字の調査研究とこれが愛護の精神を培ふことは、國民精神の作興上、また國民教育の發達上、缺くことのできないことで、さらに大東亞共榮圈の共通語としての醇正な日本語普及の根基であることは、いふまでもないところでありませぬ。

元來、漢字は支那に發達した文字であります、わが國に傳來してから歳久しく、漢字によつて記された年代の確實な文献をもつやうになつてからも、すでに一千數百年を経てをります。

このやうに久しい由來を持つ漢字が、わが國の文化と密接不離の關係にあることは當然のことで、漢字が國民精神の作興、國民文化の進展の上に多大な寄與をしたことは、想像以上のものがあります。

従つて、貴重な文化財としての漢字は、十分尊重すべきであつて、これによつて國民は、わが國の歴史と文化とに對して正當な認識がもて、またこれを活用することによつて、將來の國民生活の向上を期待できるのであります。

文部省では、今回、義務教育で習得せしむべき漢字の標

準を示すために、標準漢字表を作り、去る十二月四日、閣議決定をみました、が、今回の標準漢字表の作製は、このやうな漢字の尊重と活用との趣旨に基づくもので、多數の漢字の中で、最も必要なものを選び、義務教育で習得せしむべき漢字の標準を確立し、漢字特有の機能を十分に發揚させようとするものであつて、漢字の使用を制限しようとするものではありません。

本表は、國語審議會が、本年六月答申した標準漢字表を基礎として、さらに検討審議を加へたもので、漢字の總數二千六百六十九字となつてゐます。なほ本表中には、現在社會で普通に行はれてゐる簡易字體八十字を採用し、これを括弧内に示し、教育上、必要に応じてこれの使用を認めることにしました。また同日の閣議で、

各官廳においては、標準漢字表に照應して今後の用字に考慮を用ひること

の申合せを行ひましたが、この申合せの趣旨は、義務教育上、漢字の標準を定めたことに即應して、各官廳でも各種の公文書等の發表には、力めて平易な文字用語を使用し、これによつて政府の施策に對する國民一般の理解を容易にさせようといふところにあります。

文 部 省

この表は適宜とりはづしてご利用下さい

標準漢字表

一 本表は概ね義務教育に於て習得せしむべき漢字の標準を示したるものなり。但し古典、固有名詞、専門用語等は本表に據らざるものとす。

一 本表中には普通に行はる、簡易字體を採用し之を括弧内に示せり。

後の手段として、現に全潜水艦を太平洋、インド洋の各水域に放ち、わが海上交通路を破壊して、わが國と南方との連絡を切断し、わが國を孤立化して、生産力の息の根を止めようと企圖してゐます。

この通商破壊戦の戦場裡に、武装のない商船、或ひは武装はあつても敵艦、敵機と對等に太刀打ち出来ない商船に乘組んで、朝に敵機の爆弾を冒し、夕に敵艦の雷撃を突破して交通路を確保するために、日夜血と汗の戦ひを續けてゐる商船隊員の勞苦の程は、次ぎの一文によつても、十分に想像できます。

魚雷五本と死闘

昭和十七年〇月〇日十時三十五分、卷雲は去來し、晴曇は相半ばし、細波は爽かに立つて、巨船伏見丸の航海を祝福するかのやうに見えた時、突然、船橋に響く

「右舷百二十度〇〇〇メートル雷跡」と叫ぶ三等甲板員の聲。續いて「右舷百二十度〇〇〇メートル雷跡」と同時に、當直三等運轉士は投げるやうに力強く

「取舵一杯」

激しく廻る舵輪、船橋へ慌たゞしく飛び出る船長の巨響、けたゞしく鳴る非常召集の警笛。「魚雷・魚雷」と叫びながら各自の部署に就く。慌たゞしい足音の中に、救命袋と共に船外に出る船客、船長と三等運轉士は身体を左へ傾けながら、船橋の窓を握りしめる。近づく魚雷の心憎いほど落着いた白線二條。近づく、近づく。幾百人の生命はたゞ軸の振れ出すに懸つてゐる。下今後、一秒、二秒、三秒……五秒、十秒、軸を目も裂けんばかりに睨みつけてゐる船長の面。點ほどに見えた白線は一秒、二秒と時間を繰るにつれ、長く尾を引いて船をめぐりて突進して来る。最早これまでと思つた時、軸は左に引かれるやうに動き始めた。

「廻つたー」

魂の叫びのやうな聲につれて、船は勢ひづいたものやうにグン／＼と左へ／＼と廻る。白線は長く／＼伸びると共に船と並行になる。「戻せ」、「宜候」。船長の號令と共に、船橋直前〇メートルを白線は何物かに引かれるやうに去つて行つた。

救はれた感激に幾百の生命が安んじた折から、またしても

「右舷九十度魚雷」

と一等運轉士の報告

船長は双眼鏡を右舷に向けた。

「取舵一杯！左機停止！」

執拗な見えざる敵が放つた第三番魚雷だ。伸びる、伸びる白線。近づく、近づく雷跡。しかし見る間に、徐々に雷跡は直角方向から右舷斜めに變つた。見事な急左廻轉だ。見よ、的を逸れた魚雷は、一目散に右舷を波音も騒がしくゴーツと走り去つた。

過ぎ行く魚雷を追ふ客の眼に浮ぶ歡喜の涙。思はず叫ぶ「萬歳！萬歳の聲が船内にどよめいた瞬間。

「左舷九十度雷跡一本」

性懲りもなく敵の無敵矢二發。老練な船長

に敵する術もなく、これも難なく避航、二條の白泡は右舷を過ぎて行つた。時に午前十一時十分。

かくして三十五分間に亘る見えざる敵との闘ひに、凱歌は高く我が伏見丸に響いたのであつた。

任務は重し輸送船

商船にとつて海は戦場であると同時に戦場でもあります。港から一步出れば、そこには敵潜水艦が姿を隠して待伏せてをりますし、小雀を狙ふ荒鷲のやうに敵飛行機が飛んで來ます。

ですから航海中の全乗組員は、單に各自の職務に全力を注ぐだけではなく、さらに風の日も雨の夜も、見張りに立つて、いつ襲つて來るとも知れない敵を警戒せねばなりません。炎天に灼けつくやうな陽を全身に浴びながら、全身を眼にして前方を睨んで立つておなければなりません。打ち揚げるしぼきに頭から濡れ鼠のやうになつてしま

ひます。汗は龍のやうに流れて、眼にも耳にもお構ひなく入つて來ますが、それを拭かうともしません。若し萬一、拭いてゐる間に敵の潜水艦が現はれたらと思へば、軽々しく拭くことも出来ないのです。

眞暗な雨の夜も黙々として前方を睨んでゐます。肉眼で見えないならば、この俺の心眼で見抜いてやる、といふ烈々たる精神で立ち続け、部隊を、兵器を、軍馬を、無事に目的地に送り届けねばなりません。

そして若しもの場合には、わが身を捨てても、部隊を一人でも多く、兵器を一つでも多く、軍馬を一つでも多く、損壊させねばならない、といふ鐵石の決意と覺悟の下に、敢然と敵地に突進して行くのです。

海ゆかば水漬く屍

敵機の爆撃に、甲板上のガソリン罐

に引火した或る船では、残りのガソリン罐に引火しては一大事と、乗組員は敢然、濡れ蓑をもつて燃え熾つてゐるガソリン罐に抱きつき、次ぎから次ぎへと海の中に投げ込み、遂に部隊と船を救つたといふことです。

また、或る船では、敵前上陸を敢行中、敵機の爆撃を受けて、部隊が乗りこんでゐた發動艇が轉覆してしまひました。これを見た船員は、忽ち身を躍らせて海中に飛びこみ、救助艇の船縁に身を沈め、武装した身重な兵隊の踏み臺となつて、部隊の上陸を助けたとこのことであります。

その他、米商船ハリソン號を追走、擱坐させた長崎丸、米潜水艦の上を乗り切つて沈没させた辰鳳丸、米潜水艦と獨力四度までも砲戦を交へ、遂にこれを海底に葬り去つた油槽船寶洋丸、等々の「海ゆかば水漬く屍、大君の邊にこそ死なぬ」の精神に徹し切つた帝

思想戰讀本

情報局では、さきに本週報誌上に「思想戰讀本」を連載し、いろいろの角度から、思想戰の意義をととき、我々が思想戰の戰士として如何に御奉公の誠を致すべきかを示したが、週報讀者をはじめ、その他各方面からの切望により、その内容を取纏めて週報叢書として刊行し、更に一般國民の思想戰への關心を深め、逞しい實踐の指針たらしめることとした。

— 内容 —

- 大東亞戰爭と思想戰
- 思想戰と教育
- 思想戰と政治
- 思想戰と文化
- 思想戰と科學
- 思想戰の基礎

近日、全国各地官報販賣所、書店等から賣出されます。

内閣印刷局發行
定價 十二錢

週報 年 末 年 始 の

發行豫定について

大東亞戰爭一周年特輯の増大號を發行した關係から、十二月三十日發行の週報、寫眞週報は休刊し、新春の一月六日號を一月早々發賣いたします。

週報

昭和十七年十二月二十三日發行

編輯者 情報局

印刷者 東京市麹町區永田町一丁目一番地 内閣印刷局

發行所 東京市麹町區大手町

一部 五錢（送料一錢）
（外國郵便に依る場合は送料共一圓十錢）

▲預約記送附希望の方は一圓五錢（送料一錢）の割合を以て前金を送へ御申下さい
▲特大號の場合は其の都度御拂込より差額を受けます

所込申 全國各地官報販賣所
書店・新聞店・驛賣店

注意 御
▲本誌より贈禮の場合は必ず「週報如何に」と「贈禮」の旨を附記し、その贈禮誌を情報局編輯部郵政三部御送り下さい
▲本誌記事の無断謄寫は御断り致します
▲掲載記事に對する御希望や論議に關しての御意見も週報編輯部にお知らせ下さい
▲本誌を他へお送りの場合は郵税一部一錢



日本文學執國會撰定、情報局認定

皇は神にしませば天雲の雷の上に應ずるかも、
大宮の内まで聞ゆ網引すと網子と、のふる海人の呼聲
安見し、わが大王の食國は大倭も此處も同じとぞ念ふ
千萬の軍なりとも言擧せず取りて來ぬべき男とぞ念ふ
士やも空しかるべき萬代に語り續ぐべき名は立てずして
あしびきの山にも野にも御獵人得物矢手挟みみだれたり見ゆ
旅人の宿せむ野に霜降らば吾が子羽ぐくめ天の鶴群
わが背子はものな念ほし事しあらば火にも水にも吾無けなくに
丈夫の弓上振り起し射つる矢を後見む人は語り繼ぐがね
御民吾生ける驗あり天地の榮ゆる時に遇へらく念へば

柿本人麻呂
長 奥麻呂
大 伴旅人
高 橋 蟲 麻呂
山 上 憶 良
山 部 赤 人
遣 唐 使 使 人 母
安 倍 女 郎
笠 金 村
海 犬 養 岡 麻 呂

大君の命かしてみ大船の行のまに／＼やとりするかも
あをによし寧樂の京師は咲く花の薫ふがごとく今さかりなり
降る雪の白髪までには大皇に仕へまつれば貴くもあるか
天の下すでに覆ひて降る雪の光を見れば貴くもあるか
新しき年のはじめに豊の年しらすとならし雪の降れるは
天皇の御代榮えむと東なるみちのく山に金花咲く
唐國に往き足らはして歸り來む益荒猛夫に御酒たてまつる
大君の命かしてこみ磯に觸り海原渡る父母を置きて
眞木柱ほめて造れる殿のごといませ母刀自面變りせず
霧降り鹿島の神を祈りつつ皇御軍に吾は來にしを
今日よりはかへりみなくて大君のしこの御櫓と出で立つ吾は
天地の神を祈りて幸矢貫き筑紫の島をさして行く吾は
ちはやぶる神の御坂に常奉り齋ふいのちは母父が爲
翁とてわびやは居らむ草も木も榮ゆる時に出でて舞ひてむ
海ならずたへる水の底までも清き心は月を照らさむ
山のごと坂田の稻を抜き積みて君が千歳の初穂にぞ春く
もろこしも天の下にぞ有りと聞く照る日の本を忘れざらなむ
君が代はつきしとぞ思ふ神風やみもすそ川のすまひ限は

源 成 大 菅 尾 神 大 今 大 坂 丈 多 大 葛 紀 橘 小 雪
尋 中 原 原 人 田 奉 舍 田 部 治 伴 井 紀 清 野 宅
經 阿 臣 原 部 部 部 比 家 諸 清 諸 野 麻
信 梨 輔 道 濱 子 忍 荒 曾 千 文 呂 呂 主 持 會 人 兄 老 呂
母 親 眞 主 男 耳 布 文 呂 呂 主 持 會 人 兄 老 呂

君が代は松の上葉にあく露のつもりて四方の海となるまで
君が代にあへるは誰も嬉しきを花は色にも出でにけるかな
み山木のその梢とも見えざりし櫻は花にあらはれにけり
宮柱したつ岩根にしき立て、つゆも曇らぬ日の御影かな
君が代は千代ともさし天の戸やいづる月日のかぎりなければ
昔たれかゝる櫻の花を植ゑて吉野を春の山となしけむ
山はさけ海はあせなむ世なりとも君にふた心わがあらめやも
曇なきみどりの空を仰ぎても君が八千代をまつ祈るかな
末の世の末の末まで我が國はよろづの國にすられたる國
西の海よせくる波も心せよ神の守れるやまと島根ぞ
勅として祈るしるしの神風に寄せくる浪はかつ砕けつ、
思ひかね入りにし山を立ち出でて迷ふうき世もたゞ君の爲
命をばかろきになして武士の道よりおもき道あらめやは
限なき恵を四方にしき島の大和島根は今さかゆなり
君をいのる道にいそげば神垣にはや時つけて鶏も鳴くなり
もの、ふの上矢のかぶら一筋に思ふ心は神ぞ知るらむ
かへらしとかねて思へば梓弓なき數に入る名をぞとひむる
鏡の音になほぞおどろく仕ふとて心のたゆむひまはなけれど

北 楠 菊 津 藤 源 藤 藤 中 宏 藤 源 藤 藤 西 源 藤 源
島 木 池 守 原 原 原 原 臣 覺 原 原 原 行 原 原 範
親 正 武 國 爲 致 師 爲 祜 禪 定 實 良 俊 法 賴 範
房 行 時 貴 定 雄 賢 氏 春 師 家 朝 經 成 師 政 兼 賴

いのちより名こそ惜しけれ武士の道にかふべき道しなれば
あふぎ来てもろこし人も住みつくやげに日の本の光なるらむ
あぢきなやもろこしまでもおくれしと思ひしことは昔なりけり
富士の嶺に登りて見れば天地はまだいくほどもわかれざりけり
行く川の清き流におのづから心の水もかよひてぞすむ
ふみわけよ日本にはあらぬ唐鳥の跡を見るのみ人の道かは
大御田の水泡も泥もかきたれてとるや早苗は我が君の爲
ものゝふの兜に立つる象形のながめ柏は見れどあかすけり
すめ神の天降りましける日向なる高千穂の嶽やまづ霞むらむ
天の原てる日にちかき富士の嶺に今も神代の雪は残り
千代ふりし書もしるさず海の國のまもり道の我ひとり見き
我を我としろしめすかやすべらぎの玉のみ聲のかゝる嬉しさ
あし原やこの國どりの言の葉に榮ゆる御代の聲ぞ聞ゆる
しきしまのやまと心を人とはい朝日ににほふ山ざくら花
初春の初日かやふ神國の神のみかげをあふげ諸
八束穂の瑞穂の上に千五百秋國の秀見せて照れる月かも
香具山の尾上に立ちて見渡せば大和國原早苗とるなり
かけまくもあやに畏きすめらぎの神のみ民とあるが樂しさ

栗上橘荒本小高山林橘梅田賀荷徳下新三森
田田木居澤山彦子枝取安茂田川河納條迫
士秋千田の宜蘆九平直彦武淵滿園流元隆正
滿成蔭老長菴郎平直彦武淵滿園流元隆正

遠つ祖の身によろひたる緋緘の面影浮ぶ木々のみち葉
大日本神代ゆかけて傳へつる雄々しき道ぞたゆみあらずな
青海原朝の八百重の八十國につぎてひろめよ此の正道を
一方に靡きそろひて花すゝき風吹く時ぞみだれざりける
安見し、わが大君のしきませる御國ゆたかに春は來にけり
かきくらすあめりか人に天つ日のかがやく邦のてぶり見せばや
我が國はいともたふとし天地の神の祭をまつりごとにて
君がため花と散りにしますすらに見せばやと思ふ御代の春かな
大君のためには何か惜しからむ薩摩のせとに身は沈むとも
大君の宮敷きまし、檜原のうねびの山の古おもほゆ
君が代を思ふ心のひとすちに吾が身ありともおもはざりけり
大君の御贄のまけと魚すらも神代よりこそ仕へきにけれ
身はたとひ武藏の野邊に朽ちぬとも留め置かまし日本魂
岩が根も砕けざらめや武士の國の爲にと思ひ切る太刀
天さがる蝦夷をわが住む家として並ぶ千島のまもりともがな
天皇に仕へまつれと我を生みし我がたらちねぞ尊かりける
鹿島なる御靈の御劍をこゝろに磨きて行くはこの旅
朝廷邊に死ぬべきいのちながらへて歸る旅路の憤ろしも

有高佐徳有吉石梅鹿僧加足藤大香平賀蒲
馬橋久川村田川田持納代田倉川田茂生
新多良齊次左衛門松依雲雅月諸弘東鷺景篤季君
七郎雄昭門陰平演澄照平訓湖夫樹胤鷹平

12月抽籤 貯蓄債券 當籤番號表(其ノ三)
 割増金附 報國債券
 支拂開始期 昭和18年1月1日
 支拂場所 日本勸業銀行本店、出張所・代理店及集配郵便局
 全當籤番號掲載紙 官報、債券時報表外
 (番號表中文字ハ印刷、括弧内金額ハ割増金)
 昭和17年12月 大藏省・日本勸業銀行

戦時債券	報國債券	報國債券	報國債券
84079	86663	88674	90763
84088	86667	88680	90774
84193	86688	88717	91078
84272	86706	88776	91108
84313	86711	88778	91160
84317	86730	88779	91323
84338	86747	88781	91324
84344	86768	88824	91336
84344	86800	88883	91341
84378	86858	88913	91353
84443	86878	89086	91360
84466	86923	89121	91366
84543	86972	89133	91400
84545	86993	89215	91467
84577	87004	89307	91571
84560	87028	89334	91573
84731	87037	89345	91608
82253	84777	87044	84787
82268	84783	87061	84789
82388	84826	87065	84722
82427	84840	87073	84740
82429	84871	87092	84742
82510	84928	87096	84748
82531	84991	87113	84752
82593	85006	87131	84753
82610	85026	87210	84758
82611	85043	87293	84756
82650	85139	87317	84759
82667	85253	87349	84766
82746	85328	87350	84762
82750	85443	87423	84769
82791	85547	87497	84726
82802	85558	87516	84733
82838	85604	87554	84778
82869	85623	87611	84804
82903	85641	87704	84822
82913	85653	87749	84852
82923	85710	87756	84936
82969	85762	87776	84955
83031	85771	87821	84981
83036	85799	87842	84944
83046	85874	87731	84906
83049	85908	87719	84966
83063	85973	87723	84910
83067	86097	87727	84933
83188	86136	87746	84916
83203	86191	87769	84912
83226	86202	87784	84924
83255	86260	88043	84932
83391	86270	88048	84937
83459	86294	88072	84914
83494	86321	88133	84950
83529	86335	88158	84972
83659	86337	88228	84938
83699	86447	88274	84943
83719	86481	88368	84956
83800	86494	88370	84957
83871	86537	88375	84965
83906	86541	88376	84962
83930	86542	88380	84964
83972	86595	88421	84960
83979	86601	88472	84969
84019	86626	88498	84969
84027	86633	88538	84972
84038	86648	88629	84974
84062	86655	88641	84977

316	6184	12834	18302	23181	28161	33988
325	6314	12866	18355	23238	28177	34119
374	6432	12974	18795	23261	28296	34168
602	6464	12975	18745	23353	28332	34234
623	6701	13117	18947	23522	28356	34272
626	6824	13119	18780	23454	28422	34294
885	6872	13448	19187	23510	28743	34319
905	7141	13694	19219	23570	28799	34366
946	7214	13846	19337	23590	28954	34430
984	7345	14081	19350	23669	28951	34733
1205	7419	14195	19394	23705	28745	34790
1273	7453	14344	19417	23713	28776	34753
1361	7608	14349	19424	23724	28347	34856
1389	7717	14360	19505	23754	29061	34889
1479	7771	14427	19522	23784	29323	34913
1545	7815	14490	19581	23985	29444	34914
1650	7830	14604	19672	24046	29514	35029
1795	7925	14915	19713	24073	29543	35080
1805	7973	14938	19741	24162	29599	35223
1872	8065	14941	19746	24215	29732	35279
1890	8068	14950	19752	24271	29818	35341
1940	8241	14986	19795	24316	29762	35317
1996	8206	15084	19830	24332	30005	35351
2063	8282	15138	19833	24332	30100	35360
2158	8317	15140	19868	24614	30149	35641
2302	8331	15183	19900	24650	30224	35663
2364	8337	15207	19963	24690	30288	35805
2353	8392	15264	20005	24741	30303	35897
2712	8444	15355	20217	24783	30339	35950
2720	8039	15367	20220	24785	30347	36077
2801	9046	15461	20240	24918	30549	36092
2836	9060	15483	20244	25073	30601	36153
2898	9124	15511	20323	25092	30717	36171
3005	9179	15587	20386	25117	30830	36184
3057	9194	15674	20529	25123	30833	36194
3178	9295	15766	20641	25237	31008	36205
3187	9442	15790	20701	25314	31034	36272
3271	9451	15803	20725	25321	31067	36374
3454	9504	15892	20742	25400	31105	36503
3485	9554	15933	20744	25450	31183	36504
3528	9694	15958	20883	25482	31277	36579
3589	9866	15964	21012	25563	31312	36595
3620	9881	16062	21092	25631	31365	36621
3729	9882	16099	21144	25705	31440	36791
3775	9949	16148	21166	25822	31445	36936
3789	9979	16206	21217	25837	31468	37018
3799	9982	16235	21225	25995	31472	37133
3843	10137	16238	21404	26075	31495	37200
3870	10238	16258	21429	26107	31823	37232
3933	10277	16272	21535	26125	31839	37264
3994	10293	16283	21638	26189	31865	37282
4023	10304	16309	21649	26337	31928	37293
4116	10427	16331	21690	26390	31967	37383
4264	10325	16337	21712	26353	32117	37391
4423	10366	16793	21727	26543	32169	37445
4453	10372	16817	21731	26534	32174	37459
4472	11060	16913	21822	26724	32202	37513
4479	11190	17014	21849	26848	32303	37639
4502	11358	17093	21933	26836	32360	37722
4636	11449	17153	21988	26931	32394	37734
4678	11458	17468	22050	27019	32678	37894
4693	11497	17530	22098	27140	32696	37908
4784	11512	17654	22213	27176	32700	37923
4874	11535	17708	22232	27209	32877	37969
4895	11623	17734	22231	27291	32937	38053
4942	11733	17785	22324	27381	32961	38121
4993	11737	17833	22368	27460	32984	38146
5058	12035	17884	22602	27485	33004	38294
5196	12181	17911	22614	27515	33134	38450
5295	12192	17926	22632	27570	33224	38472
5315	12223	17981	22685	27591	33228	38499
5372	12315	18016	22697	27697	33601	38564
5374	12372	18187	22737	27783	33632	38574
5383	12473	18238	22838	27796	33631	38730
5638	12651	18290	22935	27857	33762	38810
5719	12720	18330	23124	27841	33763	38903
6027	12804	18371	23141	28093	33833	39000
6128	12821	18385	23176	28139	33864	39040

君がため命死にきと世の人に語り継ぎてよ峰の松風
 天皇の御櫛となりて死なむ身の心は常に楽しくありけり
 曇なき月を見るにも思ふかな明日はかねの心に照るやと
 しづたまき数ならぬ身も時を得て天皇が御爲に死なむと思ふ
 青雲のむかふす極すめらぎの御稜威かやく御代になしてむ
 ますらをが思ひこめにし一筋は七生かふとも何たわむべき
 大君の御櫛となりて捨つる身と思へば軽きわが命かな
 みちのくのそとなる蝦夷のそとを漕ぐ舟より遠く物をこそ思へ
 取り佩ける太刀の光はものゝふの常に見れどもいやめづらしき
 君が代はいはほと共に動かねばくだけてかへれ沖つしら浪
 大山の峰の岩根に埋めにけりわが年月の日本だましひ
 武夫のたけきかみと天の原あふぎ奪め丈夫のとも
 片敷きて寝る鎧の袖の上に思ひぞつもの越の白雪
 大君の御旗の下に死してこそ人と生れし甲斐はありけれ
 武士のやまと心をより合せたつひとすちの大綱にせよ
 後れても後れてもまた君たちに誓ひしことをわれ忘れぬや
 男山今日の行幸の畏きも命あればぞをろがみにける
 春にあけてまづみる書も天地のはじめの時と讀み出づるかな

橋大高野の田武平眞伴久佐津濵平兒吉鈴松
 限杉村中田賀木林坂久田谷野島村木本
 曙言晋東内雲元和光玄象之豫國草太重奎
 寛道作尼介齋義泉平瑞山助作臣臣郎胤堂